

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和7年5月12日(2025.5.12)

【国際公開番号】WO2023/167033

【出願番号】特願2024-504621(P2024-504621)

【国際特許分類】

C 0 7 K 7/08(2006.01)

C 0 7 K 7/06(2006.01)

C 0 7 K 14/705(2006.01)

C 1 2 N 15/86(2006.01)

C 1 2 N 15/85(2006.01)

C 1 2 N 15/11(2006.01)

C 1 2 N 15/12(2006.01)

C 1 2 N 5/10(2006.01)

C 1 2 P 21/02(2006.01)

A 6 1 P 35/00(2006.01)

A 6 1 P 21/00(2006.01)

A 6 1 K 47/64(2017.01)

A 6 1 P 1/00(2006.01)

A 6 1 P 43/00(2006.01)

A 6 1 K 45/00(2006.01)

A 6 1 K 48/00(2006.01)

A 6 1 K 38/08(2019.01)

A 6 1 K 38/10(2006.01)

A 6 1 K 35/76(2015.01)

【F I】

C 0 7 K 7/08 Z N A

C 0 7 K 7/06

C 0 7 K 14/705

C 1 2 N 15/86 Z

C 1 2 N 15/85 Z

C 1 2 N 15/11 Z

C 1 2 N 15/12

C 1 2 N 5/10

C 1 2 P 21/02 C

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 21/00

A 6 1 K 47/64

A 6 1 P 1/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 38/08

A 6 1 K 38/10

A 6 1 K 35/76

【手続補正書】

【提出日】令和5年12月28日(2023.12.28)

【手続補正1】

10

20

30

40

50

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

抗原ペプチドを含み、前記抗原ペプチドは、プロレニン受容体ペプチドを含み、前記プロレニン受容体ペプチドは、下記（P 1）、（P 2）、または（P 3）のポリペプチドからなる、ワクチン組成物：

（P 1）配列番号 1～3 のいずれかのアミノ酸配列からなるポリペプチド；

10

（P 2）配列番号 1～3 のいずれかのアミノ酸配列において、1～3 個のアミノ酸が欠失、置換、または付加されたアミノ酸配列からなるポリペプチド；

（P 3）配列番号 1～3 のいずれかのアミノ酸配列に対して、80%以上の同一性を有するアミノ酸配列からなるポリヌクレオチド。

【請求項 2】

担体タンパク質を含み、

前記抗原ペプチドは、前記担体タンパク質と結合する、請求項 1 記載のワクチン組成物。

【請求項 3】

前記プロレニン受容体ペプチドは、配列番号 1～3 のいずれかのアミノ酸配列からなるポリペプチドである、請求項 1 または 2 記載のワクチン組成物。

20

【請求項 4】

前記担体タンパク質は、システイン残基を含み、

前記抗原ペプチドは、前記担体タンパク質のシステイン残基に結合している、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のワクチン組成物。

【請求項 5】

前記担体タンパク質は、ジフテリア毒素もしくはその変異体、または破傷風毒素もしくはその断片である、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載のワクチン組成物。

【請求項 6】

前記担体タンパク質は、CRM₁₉₇である、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載のワクチン組成物。

30

【請求項 7】

対象に投与した場合、Wnt/β-カテニン経路の活性アッセイにおいて、Wnt/β-カテニン経路の活性を抑制することが可能な抗体の形成を誘発する、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載のワクチン組成物。

【請求項 8】

腫瘍の処置に用いるための、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載のワクチン組成物。

【請求項 9】

前記腫瘍は、プロレニン受容体陽性である、請求項 8 に記載のワクチン組成物。

【請求項 10】

前記腫瘍は、家族性大腸腺腫症である、請求項 8 または 9 に記載のワクチン組成物。

40

【請求項 11】

消化管良性多発腫瘍好発疾患、Gardner 症候群、Turcot 症候群、および／またはデスモイド好発症候群を合併する家族性大腸腺腫症の処置に用いるための、請求項 10 に記載のワクチン組成物。

【請求項 12】

サルコペニアまたはフレイルの処置に用いるための、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載のワクチン組成物。

【請求項 13】

請求項 1 に記載のワクチン組成物が含むペプチドをコードする、核酸。

【請求項 14】

50

請求項 1 3 に記載の核酸を含む、発現ベクター。

【請求項 1 5】

前記発現ベクターは、ウイルスペクターである、請求項 1 4 に記載の発現ベクター。

【請求項 1 6】

請求項 1 から 1 2 のいずれか一項に記載のワクチン組成物、請求項 1 3 に記載の核酸、および／または、請求項 1 4 または 1 5 に記載の発現ベクターと、薬学的に許容される担体とを含む、医薬組成物。

【請求項 1 7】

さらに、免疫賦活剤を含む、請求項 1 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 8】

対象に投与した場合、Wnt / β -カテニン経路の活性アッセイにおいて、Wnt / β -カテニン経路の活性を抑制することが可能な抗体の形成を誘発する、請求項 1 6 または 1 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 9】

腫瘍の処置に用いるための、請求項 1 6 から 1 8 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 2 0】

前記腫瘍は、プロレニン受容体陽性である、請求項 1 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 1】

前記腫瘍は、家族性大腸腺腫症である、請求項 1 9 または 2 0 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 2】

消化管良性多発腫瘍好発疾患、Gardner 症候群、Turcotte 症候群、および／またはデスモイド好発症候群を合併する家族性大腸腺腫症の処置に用いるための、請求項 2 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 3】

サルコペニアまたはフレイルの処置に用いるための、請求項 1 6 から 1 8 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 2 4】

請求項 1 に記載のプロレニン受容体ペプチド、請求項 1 3 に記載の核酸、または、請求項 1 4 または 1 5 に記載の発現ベクターを含む、形質転換体。

【請求項 2 5】

請求項 1 3 に記載の核酸、および／または、請求項 1 4 または 1 5 に記載の発現ベクターを発現させる発現工程を含む、プロレニン受容体ペプチドの製造方法。

【請求項 2 6】

前記発現工程は、

請求項 2 4 に記載の形質転換体を培養する培養工程と、

前記プロレニン受容体ペプチドを単離する単離工程と、

を含む、請求項 2 5 に記載の製造方法。

【請求項 2 7】

対象に、請求項 1 から 1 2 のいずれか一項に記載のワクチン組成物、請求項 1 3 に記載の核酸、請求項 1 4 または 1 5 に記載の発現ベクター、および／または、請求項 1 6 から 2 2 のいずれか一項に記載の医薬組成物を投与する工程を含む、腫瘍の処置方法。

【請求項 2 8】

対象に、請求項 1 から 1 2 のいずれか一項に記載のワクチン組成物、請求項 1 3 に記載の核酸、請求項 1 4 または 1 5 に記載の発現ベクター、および／または、請求項 1 6 から 1 8 および 2 3 のいずれか一項に記載の医薬組成物を投与する工程を含む、サルコペニアまたはフレイルの処置方法。

【請求項 2 9】

腫瘍の処置に用いるための、請求項 1 から 1 2 のいずれか一項に記載のワクチン組成物、請求項 1 3 に記載の核酸、請求項 1 4 または 1 5 に記載の発現ベクター、および／または、請求項 1 6 から 2 2 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

10

20

30

40

50

【請求項 30】

サルコペニアまたはフレイルの処置に用いるための、請求項 1 から 12 のいずれか一項に記載のワクチン組成物、請求項 13 に記載の核酸、請求項 14 または 15 に記載の発現ベクター、および／または、請求項 16 から 18 および 23 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

10

20

30

40

50